

ネットワークボード

今月号の特集は障がいのある人たちの暮らしについて取り上げました。今回のネットワークボードでは各地の実践を追った記録映画、「道草」を紹介します。2014年に「重度訪問介護」の対象が拡大され、ヘルパー付きでひとり暮らしを始める人たちも少しずつ増えてきました。その日常の様子を淡々と追いながら、ヘルパーの想い、ご家族の想いなども取り上げ、リアルな姿が綴られています。ぜひ皆様をご覧ください。

（編集部）



暮らしの場所を限られてきた人たちがいる。

自閉症と重度の知的障害があり、自傷・他害といった行動障害がある人。世間との間に線を引かれ、囲いの内へと隔てられた。そんな世界の閉塞を、軽やかなステップが突き破る。

東京の街角で、介護者付きのひとり暮らしを送る人たち。

タンポポの綿毛をとばし ブランコに揺られ、季節を闊歩する。介護者とのせめぎ合いはユーモラスで、時にシリアスだ。

叫び、振り下ろされる拳に伝え難い思いがにじむ。関わることはしんどい。けど、関わらなくなることで私たちは縮む。

だから人はまた、人に近づいていく。（公式ホームページより）

<https://michikusa-movie.com/>

道草 映画

検索

※オンライン視聴が出来ます。（1,000円/日）

※近日中に個人視聴用のDVD（3,000円）も販売開始予定。



編集後記



皆さんは、夏休みどう過ごされたでしょうか。今年は各地のイベントなども再開され“3年ぶり”という言葉をよく目にしました。久しぶりに田舎へ帰省したという方も多くいたのではないかと思います。私は、大学生時代からやっているライフセービング活動のため、茨城県大洗町へ数日行ってきました。私がパトロール活動をしている大洗サンビーチでは、水陸両用車いすや更衣室の無料貸し出しなどを行ない、誰もが楽しめるユニバーサルビーチを目指しています。例年であれば浜辺に海水浴で遊びに来ているお客さんを集め、玉入れや綱引きなどのスポーツイベントを開催したり、ヨガやストレッチ教室を行ったりしていますが、今年は活動自粛となり少しばかり寂しい夏になりました。それでも、海に遊びにきた多くのお客さんの笑顔を見ることができてとても嬉しかったです。たまり場の活動も思うようにいかない場面が多々ありますが、ボランティアの皆さんと一緒に企画を考え準備をし、みんなで楽しむことができるように対策を講じていきたいと思っています。（たけい）